

印西市 出前リーダーサポート塾

平成30年8月10日(金)

8月10日(金)、印西市で出前リーダーサポート塾が開催されました。

印西市は今年度、13会場で実施予定のうち10か所目の開催となりました。市内小中学校から参加された9名の先生方の前向きで真摯な姿勢が大変印象に残りました。

研修の様子

研修Ⅰ「新学習指導要領について」

始めに「2030年の社会」を予想しました。その上で、「2030年の社会に必要な資質・能力とは」を考え、各学校で育成を目指す資質・能力についてグループで設定しました。また、資質・能力を発揮した児童生徒の具体的な姿を「資質・能力の三つの柱」で整理することが評価の視点になり得ることを学びました。



研修Ⅱ「職場の多忙化解消について」



勤務校や全国の小中学校の勤務実態について共通理解を図りました。その上で、グループで多忙化の要因についてKJ法的手法を用いてまとめました。さらに、それぞれの要因に対する改善策をフィッシュボーンのツールを用いてまとめていきました。多忙化解消は難しい課題ではありますが、意図的・計画的に仕事に取り組むことにより、多忙感は軽減できるのではないかという認識にいたりしました。



〈参加者の声〉

思考ツールを用いて演習をしたことで、自分自身の考えだけでなく、グループの先生方との交流も生まれ楽しかったです。

職場に戻ったなら、多忙化の改善に向けてできることから一つでも取り組みたいと思います。教員という仕事について考える良い機会になりました。

グループ協議の中で、先生方が感じていることは自分と同じだということがわかりました。児童の指導、多忙化解消について考えることで、これからの仕事への意識を変えていきたいと思います。

教育の目標（育成を目指す資質・能力）を自分たちで創り出していくという発想が新鮮だった。このことから、学校教育目標について改めてその意味や設定された経緯などを理解し、そこで見えてきたことを授業にいかしたいと思った。

話し合いを中心に研修をさせていただき、他の先生方の意見や講師の先生方のアドバイスを受けることができ、充実した時間となりました。